

保護者の皆様

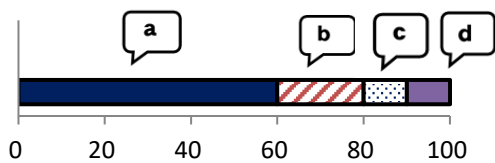
白山市立松任中学校  
校長 東海林 幸男

『後期 学校教育診断票（学校評価アンケート）』の結果について

早春の候、保護者の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に格別なるご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校では「生き方を学び合おう、高め合おう ー生徒も先生も保護者もー」を校訓として、教育活動を進めております。

つきましては、保護者の皆様にアンケート調査等の分析結果についてお知らせし、本校へのご理解の一助としていただければ幸いです。

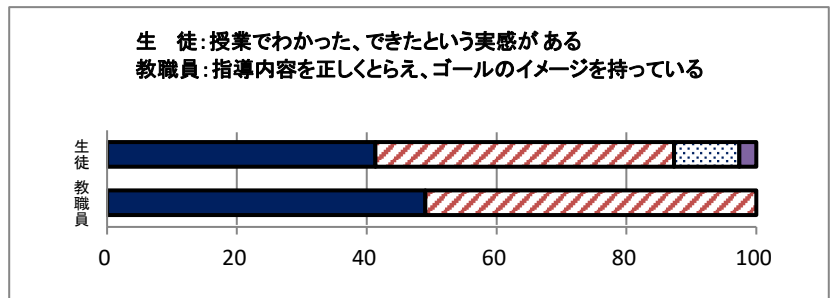


a : あてはまる  
b : どちらかといえばあてはまる  
c : どちらかといえばあてはまらない  
d : あてはまらない

【質問項目に対する集計より（抜粋）】

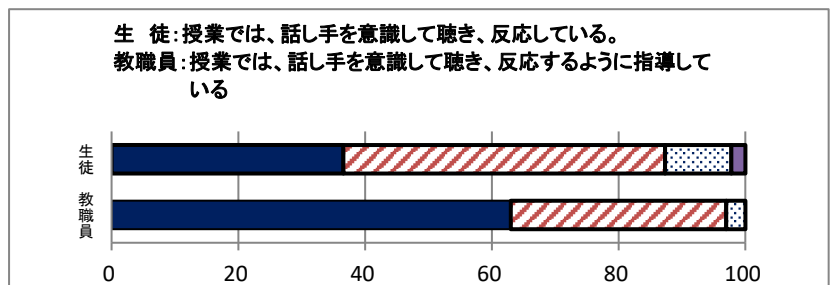
(1) 達成感を持たせる授業

生徒、教職員ともに結果は良好であるといえます。引き続き、授業では、その時間に付けたい力は何かを生徒と共有し、一人一人の達成状況を見取り、できたと実感できるような手立てを考えていきます。



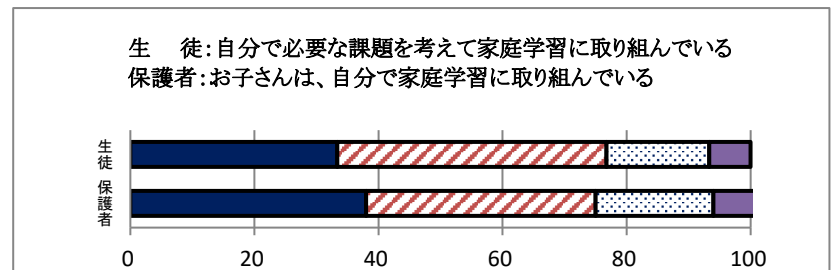
(2) 学習規律の徹底

生徒の意識の向上が見られました。3学期も引き続き授業では、話し手を意識して聴いて反応している生徒のよい姿を認め、価値付けることで、生徒全体の聴く力を向上させ、コミュニケーション能力が向上するような指導もしていきたいと思ひます。どのクラスも落ち着いた環境で授業に参加することができています。



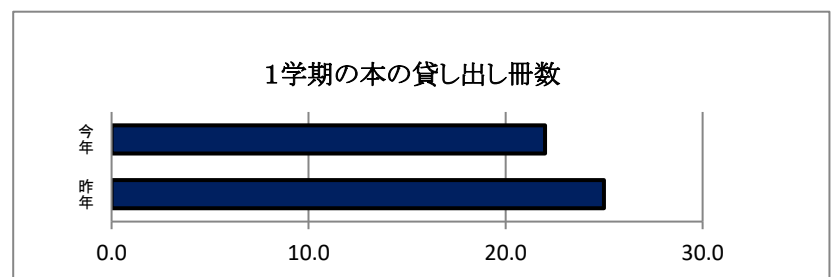
(3) 家庭学習の習慣化

生徒の a + b の肯定的評価が 80% 近くあり、概ね良好な結果だと考えます。家庭学習をさらに生徒の主体的な取組にするために、今後も学年に応じた家庭学習指導を計画的に実施していきます。



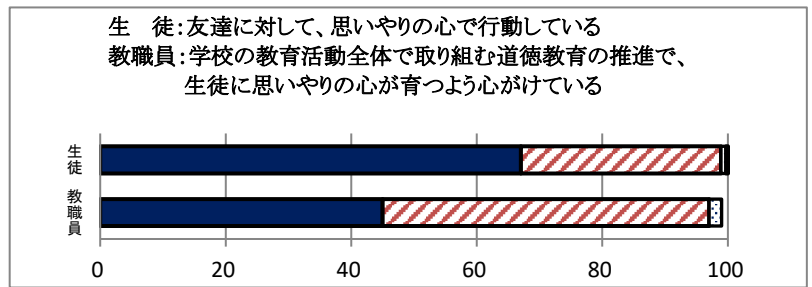
(4) 読書活動の充実

1学期の本の貸し出し冊数は昨年より減少しました。図書館での朝読書やビブリアバトル、先生による本紹介を継続し、生徒が本に触れる機会を設けていきます。委員会での取り組みも工夫し、生徒たちが本との出会いを楽しめるようにしていきます。



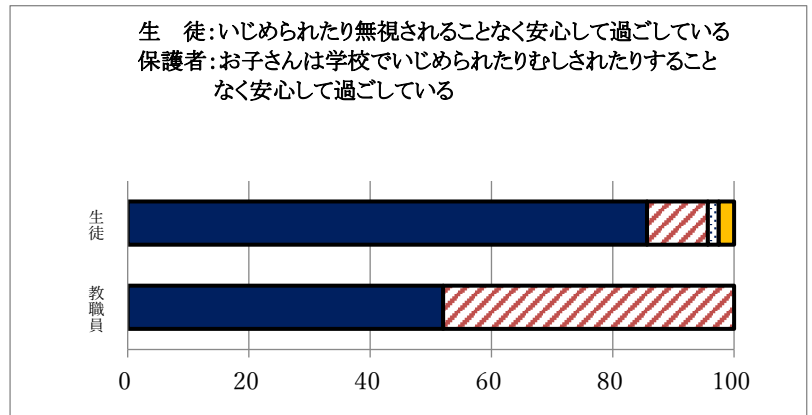
## (5) 道徳教育の充実

a、bの肯定的回答の合計は生徒約99% 教職員約98%といずれも高い評価といえます。道徳科の授業だけでなく学校行事や地域との交流の場面でも思いやりの心を育むことができるように、日頃から教職員が声かけできるよう心がけていきます。



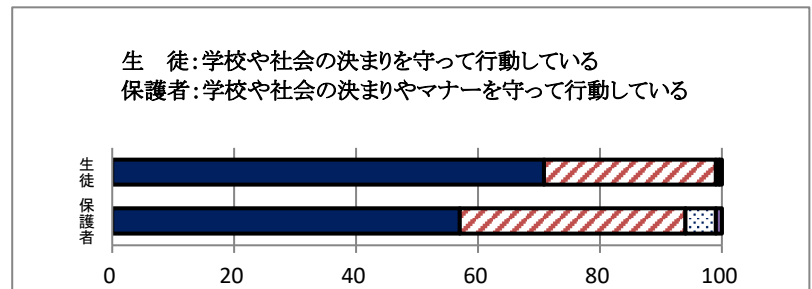
## (6) 安心して過ごせる学校づくり

生徒のcとdの回答は4%でした。学校は継続して全ての生徒が安心して過ごすことができることを目標に取り組んでいきます。毎日の生活の記録(デイリーライフ)や生活に関するアンケート、タブレットを用いた健康観察などから生徒の実態を学年で把握し、いじめの早期発見、早期対応、見逃しゼロに努めていきます。「生徒指導だより」をtetoruにて配信し、3学期も引き続き月に2回程度終礼前に「まっトーク」の時間を設定し、人間関係づくりトレーニングをしていきます。



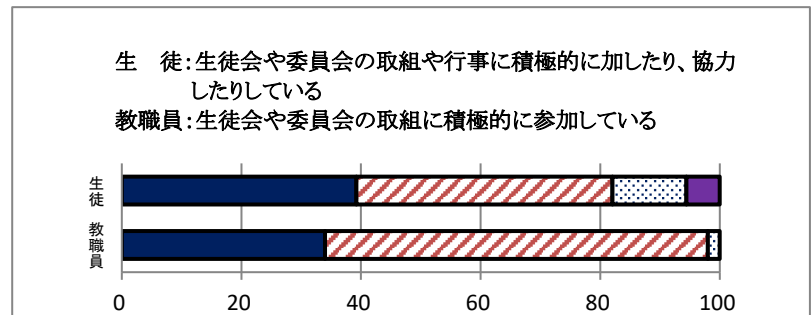
## (7) 規範意識の醸成

生徒のaの回答は7割です。ルール・マナーを守る意義について生徒に考えさせる場面を作っていきたいと思います。生徒が主体的に活動できるよう、教職員も指導に工夫を凝らしていきたいと思います。また教職員間に指導の差(根拠に基づいた生徒指導)が生じないように密な情報交換をしていきます。



## (8) 特別活動の充実

運動会や合唱コンクールといった行事の準備、運営、参加を通して学校全体のつながりが深まりました。立てた目標に向かって全校で協働することで生徒の協調性も高まりました。月別活動では、学校生活の課題を出し合い、よりよい環境をつくるためにさまざまな企画が実施されました。



## 【保護者アンケート 自由記述より(抜粋)】

- 生徒の勉強で分からないところを聞く時間を増やして頂けると助かります。
- テスト前などに質問教室を実施しています。平日は部活動の指導もあり、特別な時間は設けておりませんが、昼休みや放課後にいつでも質問することができます。
- プールの授業を選択制にしてほしいです。理由があって入れない子、そもそもプールが好きではない子などさまざまな理由があると思うので選択制にした方がよいと思います。
- 「水泳」の授業は、学習指導要領では1、2年生では必須となっています。また、松任中学校はプールの施設が整っているため、3年生でも実施しています。
- 自宅での手伝いや町内会行事への参加、ボランティアへの参加を奨励します。また、保育、介護体験を実施してはどうですか。
- いろいろな体験を実施できれば子供たちの経験になります。地域行事やボランティアへの参加について、学校で伝えられるものは伝えていきます。体験活動においては、学年300人近い人数の受け入れの調整が困難な面がある現状ですが、保育体験については、2年生の家庭科で行うことができたクラスもあります。